



## 相談窓口のご案内

- **ふくし総合相談窓口(暮らしの心配ごと相談)**  
毎週月曜日～金曜日  
8:30～17:15(祝祭日を除く)  
※自宅や施設等への訪問も行っています。
  - **アルコール学習会(断酒会)**  
2月12日(水) 13:00～15:00  
社会福祉協議会内 1階・団体活動ルーム
  - **鹿角アディクション(依存症)問題を考える会**  
2月19日(水) 19:00～20:30  
福祉保健センター内 2階・会議室
- ◆メールでの相談も受付けております。fukushinosoudan@ink.or.jp

随時更新中です!  
フォローお願いします。



公式X(旧Twitter)  
(@kazuno\_shakyo)



## まごころのご寄付

令和6年12月14日～令和7年1月16日受付分

このご寄付欄には、広報掲載の承諾を得た方をお載せしております。

- 〔香典返し〕
- 〔花輪地区〕
- 小坂一区 荒谷正樹さんから亡父功さん
- 久保田 阿部ルリ子さんから亡父義一さん
- 下夕町 八幡力志さんから亡母敏子さん
- 小坂三区 中村信幸さんから亡母セツさん
- 栗吉 柳館清典さんから亡祖母キヨさん
- 〔十和田地区〕
- 錦東 大森悟さんから亡父定四郎さん
- 関上 中村卓也さんから亡父義孝さん
- 〔尾去沢地区〕
- 上山 小西達郎さんから亡母笙子さん
- 〔八幡平地区〕
- 谷内 阿部義秀さんから亡父義美さん
- 長牛 駒ヶ峯澄雄さんから亡兄茂さん
- 川部 山口正則さんから亡父喜四郎さん
- 〔その他のご寄付〕
- 高堂トシさんから雑巾30枚のご寄付
- 天翔春子さんからコンサート収益金の寄付として2万円

## ひとりで悩まず相談を



### ～依存症について理解を深める～

去る1月17日、交流センターを会場に、「精神保健福祉ボランティア養成研修会」が開催され、依存症について理解を深めました。

研修会では、依存症に関する知識を学んだほか、当事者の体験談を聞きましたが、依存症には特效薬がなく、家族や周りの人たちを巻き込んでしまう病気であること。また、解決するには、家族や関係者などが集まり相談し合える場所が大切であることを学びました。このほか、秋田県内にある自助グループや家族会などが紹介され、講師からは「一人で悩まず専門機関に相談してほしい」と、参加者へ呼び掛けていました。

鹿角市では、「アディクション問題(※)を考える会」が毎月第3水曜日に開催されており、当事者や家族、専門機関などが集まり、話し合いをすることで依存症に関する理解や解決の糸口を探っています。ひとりで悩まず、相談してみませんか。

※アディクション問題とは：アルコール・薬物・ギャンブルなど特定の物質や行為・過程に対して自制できない程度ののめり込み(依存)を指します。

## アディクション問題を考える会 次回開催日

2月19日(水) 19:00～  
福祉保健センター2階 会議室  
参加費 200円(お茶代)  
問い合わせ 社会福祉協議会 TEL 23-2165

## ボランティア研修会

昨今、地域においては少子高齢化やひとり暮らし高齢者の増加、情報化社会など様々な社会状況が変化の中で、人と人とのつながりが希薄になっており、抱えている悩みや課題も多様化しています。地域の支え合い活動の中で、ボランティアは大きな役割を果たしている一方で、活動を通してストレスを抱えている方も少なくないと思います。今回の研修会では、ストレスとの上手な付き合い方について理解を深めていきます。

開催日 2月22日(土) 13:30～15:30 (開場13:00)  
定員 50名  
会場 鹿角市交流センター 第1研修室  
内容

- 講義①「ボランティアとは?」  
～ボランティアの基礎知識について学ぼう～(仮題)
  - 講義②「ボランティアの抱えるストレスについて」  
～ストレスとの上手な付き合い方～(仮題)
- 講師 秋田大学 大学院医学系研究科 准教授 佐々木 久長 氏

問い合わせ 社会福祉協議会 TEL 23-2165

## 2月 多世代交流スペース 行事予定

日 時	内 容
1日(土) 9:00～12:00	ひきこもり個別相談会※予約制
12日(水) 10:00～12:00	バステルアート※注
17日(月) 10:00～12:00	季節の絵手紙※注
20日(木) 9:30～12:30	ぶら～っとカフェ
26日(水) 10:00～12:00	音楽レクリエーション※注

※注 材料の準備がございましたのでご予約をお願いします。

## 第11回「出張困りごと相談会・地域のつながりづくり事業」

日時：2/27(木) 10:00～12:00  
場所：尾去沢市民センター 視聴覚室

○鹿角市G・G同好会(川上光利さん)から篤志寄付として3千円  
○JA女性柴平直売所フレッシュ一番館(小館良子さん)から古本の売上金として9千46円  
※合計38万4千201円ご寄付をいただいたいております。皆様から頂きましてのご寄付は、当会にて実施している移送サービス事業などの各種福祉事業に役立てております。皆様からのご協力に感謝いたします。

## NPO法人子どもコンシェルジュから お知らせ

### 困難を抱えている若者の支援学習会 開催

#### 親なきあとの問題について ～困難を有する若者の将来のお金と生活～

ひきこもりや不登校の方が社会の中で孤立しないよう、毎月個別相談会を行っています。面談を通じて「親なきあと」のお金と生活を心配する家族からの悩みを耳にすることが増えています。そこで、将来の生活について本人と家族が考える機会の場合として下記の通り、学習会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

開催日 2月27日(木)  
13:30～15:30(開場13:00)

会場 鹿角文化の杜交流館コモッセ1階 講堂

- ①講演 「(仮)親なきあと問題の現状と課題について」  
講師 JA秋田厚生連かづの厚生病院 医療福祉相談室 佐藤 啓子 氏
- ②講演 「(仮)親なきあとの成年後見制度・遺産相続について」  
講師 法テラス鹿角法律事務所 弁護士 林 拓巨 氏

※どなたでも参加できます。

問い合わせ 社会福祉協議会  
・申込 TEL 23-2165 FAX 23-2850  
※2月25日(火)までお知らせください。





# 『こども宅食』をご存じですか

市内で活動しているNPOを紹介します。



## こども宅食とは？

様々な事情を抱えるご家庭に対し、食材のお届け・お渡しを通し利用家庭の生活を支えながら、食を通じてつながり、寄り添いながら支援の“輪”を広げていくことを目的としています。

## NPO法人かづのclassyとは？

2015年に着任した『鹿角市地域おこし協力隊』のメンバーを中心に毛馬内の古民家を拠点として活動が始まり、今年で10年目を迎えました。法人名の由来は“鹿角”で“上質(classy)”な暮らしができるようにという願いが込められており、『“住みやすい・暮らしやすい”まちづくり』をコンセプトに、移住定住にかかわる相談や移住後のサポートをはじめ、こども宅食やこども服のリサイクル事業(icott)等を展開しています。

## 『こども宅食』をご利用ください(\*'▽')

令和6年11月に開始した事業で、子育て世帯(18歳以下のお子様がいる市内の家庭)を対象に無料で、定期的(月1回程度)に鹿角の特産品(長期保存可能なもの)を宅配します。困りごとを抱えている世帯を優先していますが、子育て世帯の方はどなたでも利用できます。



主間を利用した活動スペース



こども服のリサイクル事業(icott)

問い合わせ・連絡先 [✉ kaduno.classy@gmail.com](mailto:kaduno.classy@gmail.com)

拠点：鹿角市十和田毛馬内字下小路5-1-8



←ホームページはこちらから

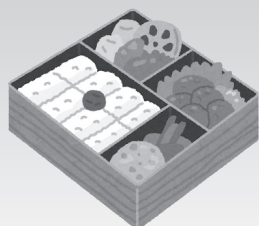
# 『わいわいランチ』

## 価格改定と配達区域のお知らせ

原材料等の高騰により、2025年1月より、1食あたりの価格を下記のとおりとしますのでお知らせいたします。

1食当たりの助成額はこれまでと同様に**400円**となります。

何卒ご理解の程、よろしくお願ひいたします。



問い合わせ  
社会福祉協議会  
TEL 23-2165

業者	改定価格	配達可能区域
あんべ食堂	900円～	花輪・尾去沢・八幡平
仕出しのポンポコ		市内全域(1日2自治会限定) ※冬期間2月までは1日1自治会
板橋仕出し店		※諸事情によりR7.2月末まで利用不可(休止) ※R7.3月は花輪・十和田のみ
おふくろ弁当		花輪・十和田・尾去沢
かまどやにこにこ弁当	1,000円～	市内全域 ※受取のみ
美ふじ		市内全域 ※受取のみ(1日30食限定)

# 赤い羽根共同募金助成事業

## ～新規団体を募集します～

### 目的

市民の皆様から寄せられた募金を赤い羽根共同募金の趣旨に沿い、地域福祉の向上に資する事業に対して、助成することを目的とします。

### 対象

鹿角市内に拠点を有し、住民の福祉向上のため、概ね1年以上の活動実績のある福祉団体・NPO法人・ボランティア団体等

### 助成対象期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日  
(令和7年度内に行う事業)

### 申請受付期間および提出先

申請期間 令和7年2月21日(金)必着  
提出先 鹿角市社会福祉協議会 窓口

※助成金額や申し込み方法につきましては、当会へお問い合わせください。

【問い合わせ】社会福祉協議会 TEL:23-2165



# 温かい笑顔地域へ

## ～日本赤十字社による 車両の寄贈式を行いました～

日本赤十字社秋田県支部では、災害救護車のほか、AEDや移動炊飯器などの災害救護資器材の寄贈事業を実施していますが、このほど、災害に備えることを目的に、「災害救護車」をご寄贈いただきました。



当会では、災害時はもとより、誰もが住み慣れた地域で、安全・安心な暮らしを続けることができるよう、赤十字活動のほか、地域福祉活動に役立ててまいります。



# 除雪ボランティア本格始動!!

年末から降雪が続き、ひとり暮らしの高齢者などから除雪ボランティアへの依頼が相次いでいます。当会では、親族や近隣など、身近に除雪の協力を得られない高齢者や障がい者世帯を対象に、市民ボランティアによる除雪ボランティア事業を展開しています。

### 活動内容

ひとり暮らしや高齢者世帯等の玄関の出入り口付近や、軒下に溜まった雪の除排雪作業を行います。

※屋根の雪下ろしや除雪車両が置いていった雪の片づけはできません。  
※世帯状況やボランティアの調整がつかないなどにより実施できない場合もございますのでご了承ください。

除雪ボランティアによる除排雪をご希望の方は当会までご相談ください。

【問い合わせ】社会福祉協議会 TEL 23-2165



地域振興局(花輪地区)



地域振興局(花輪地区)